

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上伊那地域観光戦略 ～DMO にむけて～
事業主体 (連絡先)	上伊那観光連盟 (上伊那広域連合 リニア推進課 内 電話：0265-78-2500)
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	388,770 円 (うち支援金：311,000 円)

事業内容

- 講演会の開催
 - 実施日：平成28年5月30日(月)
 - 講師：清水慎一氏 (大正大学地域構想研究所教授)
 - 演題：「日本版 DMO を核とした観光地域づくり」
 - 参加者：44 名
- 勉強会・ワークショップの開催
 - 第1回 7月11日(月) 課題共有、意見交換/33名
 - 第2回 9月12日(月) 地域の仕組みづくり/38名
 - 第3回 11月14日(月) 地域一体の取り組み/37名
 - 第4回 1月16日(月) 課題、期待、危惧/31名
 - 報告会 1月16日(月) 組織設立の了承/30名
 - 第5回 3月8日(水) 次年度に向けて/38名



【 DMO 勉強会 】

【目標・ねらい】

- ① 日本版 DMO の考え方の普及・啓発
- ② 地域の取り組むべき課題の共有
- ③ 上伊那 DMO 設立への方向性確立

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①行政機関や観光関係事業者をはじめとする多様な関係者の方々に「日本版 DMO」の意義・必要性を認識いただくことができた。
- ②地域が抱える課題を抽出し、上伊那における DMO の必要性や将来期待される姿が明確化された。併せて危惧される点、地域一体となって取り組むべき点について具体的に意識の共有が図られた。
- ③広域規模で様々な関係者が横断的に連携し「あるべき姿」を目指す場「上伊那版 地域連携 DMO」の設立について、関係者の了承を得ることができた。地域内外から愛され、活気に溢れる上伊那の観光地域づくりに大きな期待が持てる。

※自己評価 【 A 】

【理由】

今年度は多様な関係者の合意形成を目的として取り組んだ。地域・業種を越えた 47 団体、延べ 251 名の関係者の参画により、10～20 年後の伊那谷の観光地域づくりを担う組織づくり・人材育成に向け、今後につながる明確な方向性が得られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度の取り組みにより、「日本版 DMO」に対して地域・業種を越えた多様な関係者の合意形成を図ると共に、上伊那における地域連携型 DMO の設立について了承された。今後は「組織・人材・財源」、「事業プログラム・ブランディング」の面から本格的な検討を行い、平成 30 年度の「上伊那版 DMO」新組織の立ち上げを目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある